

# 3年学年通信

## 12月号

石川県立金沢錦丘高等学校

いよいよ、12月です。これまでの努力がそろそろ成果となって表れてきていることでしょう。その一方で、緊張感が続いたり神経質になったり、精神的な変化を経験している人もいることでしょう。しかし、それはごく当たり前のことで、その変化自体に動揺する必要は何もありません。「本番が近づけば、そんなものだ」とさらりと考えて、本番当日をいい状態で迎えられるようにしていきましょう。入試本番の当日まで伸びる自分を信じて学習を続けましょう。

### ★行事予定★

月	火	水	木	金	土	日
				29 全統センター プレ	30 全統センター プレ	1
2	3	4	5	6	7	8
9 三者懇談開 始(~27)	10	11	12	13 センター練習 代ゼミ白パック	14 センター練習 代ゼミ白パック	15
16	17	18	19	20	21	22
23 終業式	24 センター練 習 河合塾 Kパック	25 センター練習 河合塾 Kパック	26	27	28	29 登校禁止 (~1/3)
30	31	1/1	2	3	4	5
6	7 始業式	8	9	10 センター練習 Z会直前トラ イアル	11 センター練習 Z会直前トラ イアル	12
13 [成人の日]	14	15	16	17 センター試験 激励会	18 センター 試験①	19 センター 試験②

### 計画的にバランスのとれた学習をしよう

12月の予定を見ると、マーク演習が続きます。ただ、ここで大事なことはマーク型と記述型の学習のバランスです。センター試験と個別試験の両方を考えながら学習を行う必要があることを忘れないで下さい。このバランスは、志望する大学によっても、科目によっても異なってきます。具体的なやり方についてはそれぞれの科目や担任の先生方から聞いて、それぞれに最適なバランスを意識して学習していきましょう。

## 成績は直前期ほどよく伸びる！

ちょっと考えてみましょう・・・。

コップに水が半分残っています。「あと半分しか水が残っていない。」と思うか「まだ半分も水が残っている。」と考えるか、あなたはどちらですか。

12月、いよいよ追い詰められたというような悲壮感に浸り始める人がいるかもしれません。模試の結果からなおさら不安を感じる人もいるでしょう。

しかし、大学受験はこれからが本当の勝負です。受験を意識した学習をすすめてから夏休みの時点で学習レベルがアップしましたが、12月からはさらにレベルアップした学習ができるはずですが、時間(量)に内容(質)も伴った学習が今まで以上にできるはずですが、否応なしに集中力も上がっているわけですから、その勢いを止める理由は何もありません。どんなにスロースターターであっても、この時期になれば志望校合格まであと何点必要かもわかっているはずですが、だから、残りの日数で何をやるべきかも判断できます。やればやるほど、まだやっていないことが出てくるように感じるかもしれません。しかしそれは、学習が進んだからこそ見えるものなのです。そのレベルまで来たのだと自信を持ちましょう。

「コップに水はまだ半分も残っている。」限られた時間の中で最大の成果が得られるよう最後まで学習と気持ちを維持していきましょう。



## 本番間近にするべき頭とからだのチューニング

1. まず、この時期に大切なことは、日常生活のリズムを崩さないということ。
2. 起床してから脳が本調子で動き始めるまでだいたい3時間かかる。したがって本番の試験スタートの時間より少なくとも3時間前には起きるという習慣を今からつけておくこと。
3. 勉強に臨むときには、解答時間を意識することを徹底する。センター試験も含め志望校の試験時間から割り出した、1問あたりにかける時間内で確実に解くトレーニングを何度もしつこいほど繰り返さなければならない。本番は時間との勝負。このことを肝に銘じて、自分に厳しく取り組むこと。
4. 試験本番当日のタイムテーブルに即した練習を何度か行うことも必要。いくら頭で理解していたつもりでも、本番では精神面に悪影響を与えることなどが往々にして起こる。そうした状況を切り抜けるためにも、事前にシミュレーションを繰り返しておくこと。

## センター試験練習会を意義あるものに！

12月からセンタープレ等のセンター試験練習会が続きます。

5教科7科目の練習会を1回行うと、約8時間を要します。4回の練習会で計32時間程の時間をかけることになります。これだけの時間をかけて練習会をすると、それだけでもかなり力がついたような気になるかもしれません。しかし、これは勘違いです。これは多くの先輩たちの失敗例です。やりっぱなしでは、ほとんど実力の向上にはつながりません。センター直前の貴重な時間を、生かすも殺すも、その後の学習の仕方にかかってきます。つまり、自己採点した後の学習法が重要であるということです。

自分の解法と模範解答の解法の相違を良く分析し、自分の解法のどこをどのように修正したら正しい答えにたどりつけるかを、十分に検討してください。正しい解答・解法をインプットしただけでは、時間がたった後にまた自分の間違った考え方を繰り返してしまいます。この“分析”をした後に、自分の考え方が本当に修正できたかどうかを確認します。これがアウトプット学習です。アウトプットする前の“分析”をぜひ実行してみましょう。

